学校番号	３０１

令和２年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

新たに学び始める美術の多様な創造的な表現活動を楽しみ、感性と個性を重んじ、創造的な作品の表現を目標とする。基礎的な表現形式と方法を学び、表現に適した技術を工夫し、制作することを目指す。美術作品、文化の理解を深め、美術に対する見識を高める。

２　学習の到達目標

美術の創造的な活動を通して、美術体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高め、創造的な表現を追及する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や思考の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や多岐にわたる美術文化に関心を持ち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	今まで培った感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、各表現における目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	個性溢れる創造的な美術の表現をするために必要な技能と技術を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの多様な表現方法や美術文化などを理解し、その文化的背景、よさ、美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動の様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	デッサン	【絵画】【鑑賞】 ・身近な物をしっかり見つめ、対象の形体と空間、その存在を鉛筆で描く。 ・各自描いたデッサンを鑑賞、批評し、合評。観点を明らかにする。	○	○	○	○	a:対象を深く見つめる眼を養い、その存在感を描こうとする意欲。 b:対象から感じ取ったこと、形態の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:デッサンの目的を理解し、対象の空間、存在、素材などを鉛筆の特性を生かして表現している。 d:制作した作品を各自の意見で批評し、デッサンの目的や働きを理解している。	ワークシート 制作中の作品 完成作品 批評会での発言
一学期&二学期	多様な絵画表現	【絵画】 ・基礎として、多様な絵画表現を学び、感性と創造性を重んじ制作。	○	○	○		a:基礎的な美術表現を理解し、様々な形式の表現や形式の制作に取り組もうとしている。 b:感性と想像力を働かせて、個性的で独自の創造的な表現の構成を練っている。 c:表現に合わせて、必要な技法を使い、意図に応じて、表現法方を考え、工夫している。	ワークシート 制作中の作品 完成作品
三学期		【鑑賞】 教科書や美術書を中心に、多様な美術表現を鑑賞				○	d:、表現法方、思考、歴史などを通して、それぞれの表現における感性、創造性と目的の相違点と普遍性を理解し、将来における鑑賞活動を豊かに、かつ、深めている。	ワークシーt- 鑑賞活動の様子や発言内容

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。